

授業科目 NO.501 基礎看護学実習 I

(対象の生活・環境・健康課題の理解)

Fundamental Nursing Practicum I
(Understanding the Target's Life, Environment, and Health Issues)

授業の形態： 実習

単位数（時間数）： 1 単位（45 時間）

開講年次・学期： 1 年次・前期

必修・選択の別： 必修

キーワード： 生活，看護職者としての基本的姿勢、健康課題、援助的コミュニケーション

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学修目標

1) 一般目標

看護の対象である人々の生活（療養生活を含む）を理解する。また、看護職者としての基本的姿勢（対象の権利を尊重し、擁護する、倫理に基づき行動する）と健康課題を解決するための知識・技術の必要性、援助的コミュニケーションの実際を学修する。

2) 行動目標*カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 看護の対象である人々の生活（療養生活を含む）を知ることができる。（①②③）
- (2) 看護職者には、対象の権利を尊重し、擁護する必要性がわかる。（①②）
- (3) 看護職者には倫理に基づき行動（守秘義務、自己の健康管理など）する必要性がわかる。（①②）
- (4) 看護職者には、健康課題を解決するために知識・技術が必要であることがわかる。（①②③）
- (5) 看護の対象との援助的コミュニケーションの方法がわかる。（①②）

3 学修内容

実習の内容については、実習要項に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	%
実習成績	100%
レポート	%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

5 教育担当者

科目責任者： 松井 希代子

教 授	松井 希代子 (基礎看護学)
講 師	宮永 葵子 (基礎看護学)
講 師	石井 和美 (基礎看護学)
嘱託講師	杉森 千代子 (基礎看護学)
助 教	釜谷 友紀 (基礎看護学)

6 教科書

特になし

7 推薦参考書

「看護学原論Ⅰ」等で用いられた教科書・資料

8 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

準備学修は実習全体として 180 分程度必要です。

- 1) 人間にとって生活とは、生活行動とは何か学修し、事前学修レポートに整理しておくこと。
- 2) 日本看護協会が提示している「看護職の倫理綱領」を熟読し、実習に出席すること。
- 3) 健康の定義を「看護学原論Ⅰ」で使用する教科書等を参考に、事前学修レポートに整理しておくこと。
- 4) コミュニケーションの取り方について「看護学原論Ⅰ」で使用する教科書に記載されている内容を熟読し、実習に出席すること。
- 5) 実習施設の目的について、事前学修レポートに整理しておくこと。

9 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- ・事前学修レポートは担当教員がコメントして返却します。
- ・実習記録物・評価は、実習終了後に個別にフィードバックします。

10 履修上の注意事項

- 1) 健康管理に努めること。
- 2) 個人情報保護に留意すること。

11 オフィスアワー等

オリエンテーション時に各担当教員がお知らせします。